

北部（１）樟葉北小学校 適正化方策案の検証評価（事務局評価案）

方策案	北部 A (樟葉小と統合)	
	ア (統合校：樟葉小)	イ (統合校：樟葉北小)
特に有効な点		
課題点など	<ul style="list-style-type: none"> 両校を統合した場合、児童数・学級数の将来推計において、平成 40 年度頃まで大規模校となってしまう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 保有教室が 28 教室しかなく、増築等が必要。(学級数最大時は 10 教室程度、適正規模となる時期は 4 教室程度) 運動場面積が小学校設置基準を下回る状況となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保有教室が 25 教室しかなく、増築等が必要。(学級数最大時は 13 教室程度、適正規模となる時期は 7 教室程度) 学校敷地がやや不整形 樟葉小から分離開校しており、歴史的な経緯から課題がある。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 樟葉北小の統合方策案は樟葉小とのみであるが、統合においては常態的に（平成 40 年度頃まで）大規模校となる事が予測されるため、今後の児童数・学級数の推移をみながら統合時期を見極める必要がある。 統合においては、両案とも教室数が不足するため、増築が必要となるものの、イ案は、歴史的な経緯など困難な課題がある事などから、課題が少ない北部 Aーア案が総合的に最善策であると考え。なお、運動場面積についての課題は、統合の有無に関わらず別途解消を図る必要がある。 	